

ふくやま未来づくりビジョン2018

～活力と魅力に満ちた輝く都市に向けて～

はじめに

昨年度は、市民の皆様にも市政の変化を感じとっていただきたい、そんな思いを胸に、施策を着実に実施して参りました。新年度も、挑戦の手綱を緩めることなく10年、20年先の福山の姿を見据え、市民の皆様にも「**未来を実感**」していただけるよう次のステージへと力強く移行して参りたいと考えています。

このため、

- 輝きを放つ都市づくり
- 未来を創る人づくり
- 本格的な人口減少対策

を進める「ふくやま未来づくりビジョン2018」を策定し、「5つの挑戦」の取組を加速して参ります。

本市における産業や人材育成、芸術・文化、スポーツの拠点機能強化に力を注ぎ、備後の中核都市として輝きを高めることで、備後圏域全体の発展をけん引して参ります。

また、広島県東部工業技術センターの機能強化により、ものづくり企業の競争力を高めるとともに、遠隔操作ができる家電製品や自動走行などに代表されるIoT（あらゆるモノがインターネットにつながること）・AI（人工知能）等の最先端技術を活用できる人材育成に取り組みます。そして、新たな技術や働き方、暮らし方などを提案・発信・体験できる都市としても成長していきたいと考えています。

全国的に少子化が進行する中、本市においては、出生数が減少傾向にあり、合計特殊出生率も低下が懸念される状況です。人口は都市活力の源泉であることから、強い危機意識を抱いています。そのため、本ビジョンに喫緊の対策として若い女性の転出抑制・転入促進などを盛り込むとともに、本年9月には本格的な人口減少対策の「全体像」を市民の皆様にお示ししたいと考えております。

引き続き、「スピード感・情報発信・連携」を市政運営の基本としながら、現場主義を貫き、市民の皆様とともに未来づくりの歩みを進めて参ります。

福山市長 枝広 直幹



ふくやま未来づくりビジョン2018の概要 ～次なるステージへの加速～

- ・ 未来づくりを推進する15施策の当初予算額 **約126億円** (再掲分を除く) 【一般会計 政策経費の約37%】
- ・ 国の補正予算に伴う前倒しを実施 (2017年度 (平成29年度) 3月補正予算対応)
事業費約5億円 (小中学校施設の耐震化など) ⇒ 前倒し分を含めた実質的な事業費 **約131億円**

～5つの挑戦の加速～

挑戦1

中心市街地の活性化と
都市の魅力向上

予算額
257,362千円

加速の
ポイント

- ・ 福山駅前のにぎわい再生に向けた実践
- ・ 情報発信の強化
- ・ インバウンド観光の推進

【主な事業】

- ・ 新「(仮称)福山駅前デザイン会議」の立ち上げ
- ・ 新駅前エリアの価値を高める「現代版家守」の育成 (リノベーション人材の育成)
- ・ 新「二之丸お散歩エリア」創出に向けた社会実験
- ・ 新重点広報テーマを中心とした戦略的な情報発信 (鞆の浦・福山ネウボラ・デニム生地)
- ・ 新訪日外国人のニーズに対応した昼も夜も楽しめる福山の提案 など



挑戦2

希望の子育て,
安心の医療・福祉と
まちの活力の創出

予算額
1,537,501千円

加速の
ポイント

- ・ 福山ネウボラの充実
- ・ 高齢者や障がい者が安心して暮らせる支援体制の強化
- ・ 若者や女性の地元定着・転入促進の強化

【主な事業】

- ・ 福山市立大学等と連携したネウボラ相談員のスキルアップ研修
- ・ 福山ネウボラ「あのね」と「わーくわくママサポートコーナー」の連携強化 (女性の再就職支援の充実)
- ・ 新子育て家庭へ子育てグッズや絵本などをプレゼント
- ・ 新不育症治療助成制度の創設
- ・ 新備後圏域6市2町の連携による徘徊高齢者の早期発見・安全確保
- ・ 新手話に対する理解の向上 (手話講座の開催など, 手話言語条例に基づく取組の実施)
- ・ 新大学生の地元定着促進 (市外大学への通学支援)
- ・ 新女性のUIターン就職の支援 (就職活動や引っ越しなどを支援 (母子家庭含む))
- ・ 新女性の“働きたい”を後押し (女性活躍のための職場環境改善経費への助成) など



挑戦 3

まちの成長をけん引する
産業づくり・防災

予算額
3,046,936千円

加速の
ポイント

産業の拠点機能強化に向けた

- ・産業基盤の整備
- ・人材育成力の向上
- ・創業の促進

【主な事業】

- ・**新**福山北産業団地第2期事業
- ・**新**広島県との連携したものづくり人材、IoT・AI人材の育成強化
- ・**新**創業支援の充実（Fuku-Bizの創業支援体制の強化、創業者同士のつながり強化）
- ・**新**まるごと実験都市の推進

（自動走行、(仮称)先端技術によるまちづくり官民協議会の設置、
マイナンバーカードを活用した「ばらのまち福山ポイント（自治体ポイント）」） など



挑戦 4

夢・希望あふれる未来
を創る人財の育成

予算額
2,447,019千円

加速の
ポイント

- ・福山100NEN教育の更なる充実
- ・グローバル人材の育成強化
- ・未来づくりに向けた取組創出

【主な事業】

- ・**新**ICT教育機器の整備
- ・中学校給食の完全実施（2020年）に向けた整備
- ・**新**市内全小学4年生のふくやま美術館への招待
- ・**新**官民協働による福山版“海外留学制度”を活用した初の海外派遣
- ・**新**未来づくりへの支援（30年後の未来図実現に向けたオール福山での取組）
- ・**新**地域課題の解決に向けた取組（有識者会議・シンポジウムの開催） など



挑戦 5

文化・スポーツの振興

予算額
5,360,815千円

加速の
ポイント

芸術・文化、スポーツの拠点機能強化に向けた

- ・歴史・文化資源の磨き上げ
- ・市民文化活動の促進
- ・オリンピックムーブメントの推進

【主な事業】

- ・福山城築城400年記念事業の推進
（**新**福山城西二之丸石垣保存整備
新福山駅北口広場整備 **新**福山城公園整備（樹木伐採等）など）
- ・**新**ばらのまち福山国際音楽祭2018の5月開催
- ・(仮称)福山市総合体育館の整備
- ・**新**メキシコオリンピックチームの事前合宿受入れ など



5つの挑戦 各施策

【挑戦1】中心市街地の活性化と都市の魅力向上

中心市街地の活性化(予算額:70,708千円)

担当課：建設局福山駅前再生推進部福山駅前再生推進室
都市部公園緑地課 ほか

めざす姿

子どもから高齢者まで多くの人が福山駅前に集い、買い物や散歩など自由な時間を楽しむまち

2017

福山駅前再生ビジョンの策定

2018

再生ビジョンに基づく具体的な取組を実践

駅前の再生に向けた様々なプロジェクトを着実に推進

概要

福山駅前再生ビジョンに基づき、“働く・住む・にぎわい”が一体となった福山駅前をめざし、遊休不動産を活用した新たなコンテンツの創出、公共空間などにおけるデザイン計画の検討、道路や公園の有効活用に向けた調査などの取組を進めます。

新たなコンテンツの創出

① リノベーションまちづくりの推進

リノベーションまちづくりに必要な人材を発掘・育成するため、福山駅周辺の遊休不動産を活用した実践型のリノベーションスクールを開催

福山駅前エリアの価値を高める
現代版“家守”※を育成！

RENOVATION SCHOOL@福山

※リノベーションスクール

- 開催回数
年度内に2回開催予定
- 定員
各回24人程度

※現代版“家守”

エリア価値を高める志を持った地権者と事業者をつなぐ役割を担うリノベーションまちづくりに必要な人材



公共空間の有効活用

② 道路を活用したにぎわい創出の検討 (一部再掲)

にぎわいや歩行者の回遊性の創出に向け、駅前の道路空間などを活用した実態調査 など (二之丸お散歩エリア創出に向けた社会実験(再掲)など)



魅力溢れる都市空間のデザイン

③ (仮称)福山駅前デザイン会議などの創設
福山駅前再生ビジョンで描いた駅前の将来像を具現化するため、公園や道路といった公共空間の配置などを検討

④ Park-PFI※の導入に向けた検討

中心市街地のにぎわい創出に向け、中央公園等への民間事業者によるカフェやレストランなどの設置のための調査

※Park-PFI

公園へ飲食店などの収益施設とその周辺の公園施設を一体的に整備する民間事業者を公募により選定する制度

都市の魅力向上と発信(予算額:147,347千円)

めざす姿

市民が誇りや愛着を持ち、住んでみたい・住み続けたいと思えるまち

2017

2018

情報発信戦略基本方針策定

地域資源の魅力向上, 戦略的な情報発信

シビックプライドの醸成

概要

地域資源を磨き上げて新たな魅力を作り出すとともに、情報発信戦略基本方針に基づき、専門家の知見や新たなメディアを活用しながら、都市の魅力を戦略的に発信します。

福山の魅力の向上



福山ブランド認定・登録制度を通じた新たな魅力の創出 など

・「ふくやま暮らし」のロールモデルを紹介
・新移住者(新婚・子育て世帯)向け住宅支援(住宅改修費の一部助成) など

情報発信力・拡散力の強化

重点広報テーマ(観光, 産業, 子育て)を中心とした戦略的な情報発信

- 福山ファンの増加, 情報拡散力の強化
 - ・新福山ふるさと大使(小林克也さん)による市の魅力発信
 - ・新福山アンバサダー同士がつながる場づくり
 - ・福山オリジナルデザインの電子マネーカードの作製・配布
- ホームページによる情報発信の強化
 - ・新ホームページのアクセス解析・分析 など
- 広報ふくやまのリニューアル
 - ・電子版広報の制作, 全ページカラー化



市民の誇り・愛着の醸成

【挑戦1】中心市街地の活性化と都市の魅力向上

戦略的な観光振興(予算額:39,307千円)

担当課：経済環境局文化観光振興部観光課
企画財政局企画政策部企画政策課 ほか

めざす姿

観光資源の価値が高まり、市外から多くの観光客が訪れにぎわうまち

2017

2018

受入環境の整備

インバウンド施策の加速化、情報発信・拡散力の強化

総観光客数の増加、外国人観光客の定着化

概要

外国人観光客誘致に向け、動向調査・分析を行い、実効性のある戦略的なインバウンド観光の推進につなげます。また、鞆の浦を核とした観光プロモーションにより、本市の認知度向上や観光客数の増加につなげます。

インバウンド観光の推進

アメリカやフランスを主なターゲットとした観光施策を実施

外国人によるインバウンド観光支援

- ・SNSを活用した本市の魅力発信
- ・観光課題の洗い出しや改善提案

外国人観光客の動向調査・分析

- ・外国人の流動、滞在などの動向調査・分析

〇受入環境の充実

- ・福寿会館での箏(こと)や能などの和文化体験
- ・外国人ニーズに対応したコンテンツの充実
 - ・ナイトタイムエコノミーへの挑戦(昼も夜も楽しめる福山の提案)



観光プロモーションの強化

鞆の浦を核とした観光プロモーション

- ・情報拡散力の高い首都圏の20～34歳の女性に向けた鞆の浦などの観光プロモーション
- ・古民家など地域資源の活用促進

〇周遊観光促進キャンペーン

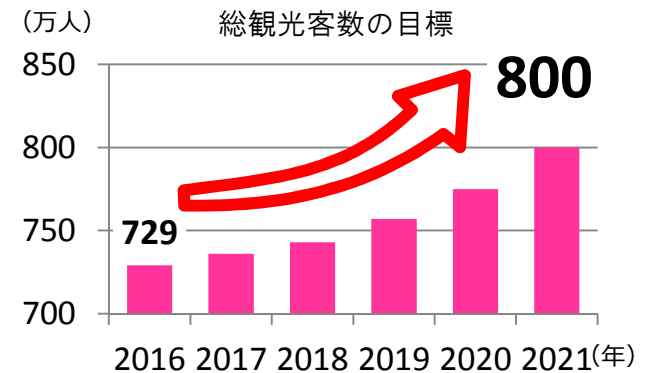
- ・市内観光スポットを周遊するキャンペーン
- ・周遊データの分析



広域観光の推進

〇びんご圏域周遊促進事業

- ・圏域の素材をつなぐ旅行商品の開発
- ・広島県やせとうちDMOと連携した情報発信



福山ネウボラが支える希望の子育て(予算額:1,349,624千円)

めざす姿

子育て家庭の負担や不安が軽減され、希望の子育てを実現するまち

2017

2018

福山ネウボラの構築

福山ネウボラによる子育て支援や貧困対策の充実

福山ネウボラによる
子育ての不安や負担の軽減

概要

妊娠・出産・子育てに関して切れ目のない支援を行い、子育て家庭の負担や不安を軽減させるとともに、援助を必要とする家庭などへ学習支援や経済的支援を行うことで、安心して子どもを産み育てられる環境をより一層充実させます。

●切れ目のない子育て支援の充実と少子化対策

福山ネウボラ相談窓口
「あのね」(市内12か所)

ネウボラ相談員が妊娠・
出産・子育てに関する
相談に応じます。



福山市立大学と連携した
ネウボラ相談員のスキル
アップ研修で、子育て相
談を更に充実

妊娠・出産



○妊娠・出産への支援

- ・妊婦不妊治療に加え、不育症の治療、新生児聴覚検査の費用の一部を助成
- ・子育て支援ボランティア等による産前産後のサポート
- ・子育て家庭へ子育てグッズや絵本などをプレゼント
(あのねHappy Baby Box)



子育て



○子育てへの支援

- ・公立認定こども園((仮称)東部こども園)の整備
- ・放課後児童クラブの拡大(小学6年生まで)
- ・親子での遊びや交流の場の提供
- ・障がい児への療育や、保護者が相談しやすい体制づくり

子育て支援情報の発信など

○子育て支援ツールの充実

- ・子育て支援アプリなどによる子育て情報の発信



就労・再就職

○就労・再就職の支援の充実

- ・就労相談や就職情報の提供
(広島県「わーくわくママサポートコーナー」と連携)

○子育てに係る医療支援

- ・小児救急医療体制の確保
- ・子どもの発達支援(こども発達支援センター運営)
- ・病児・病後児保育事業

○貧困の連鎖の防止

- ・市営住宅(子育て世帯向け住宅改修)
- ・青少年の大学等の進学にかかる費用への支援
- ・ひとり親の資格取得への支援
- ・子どもの居場所を兼ねた学習支援

「健康長寿社会 福山」の実現(予算額:96,436千円)

担当課：保健福祉局保健部健康推進課
長寿社会応援部高齢者支援課

めざす姿

健康寿命が長く、住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らすことができるまち

2017

2018

地域における人材の育成
専門機関との連携強化

地域を支える人材や関係機関の増加による支援体制の強化

地域や関係機関等が
連携したまちづくり

概要

生活習慣病予防・食育推進などの健康づくりボランティアや自殺予防のための身近な相談支援者を養成するとともに、認知症の初期段階から対応できる体制の構築、家族などが集える場の開設支援など、いきいきと安心して暮らすことができる地域づくりを行います。

健康寿命の 延伸に向けた 取組

生活習慣の改善(未病対策)

○運動や食育の推進

- ・運動や食育を普及推進するボランティアの養成・活動支援
- ・食育講演会やヘルシーメニューコンテストなどの開催

心の健康づくり・自殺の予防

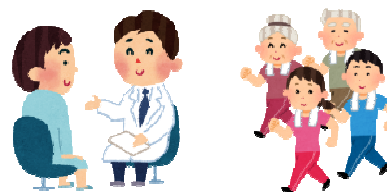
○啓発活動、支援者の養成

- ・心の健康づくりや命の大切さに関する講演会の開催
- ・身近な支援者となるゲートキーパーの養成

生活習慣病の重症化予防

○医療機関と連携した重症化予防

- ・糖尿病性腎症の患者などのうち重症化するリスクが高い人を対象に、医療機関と連携した保健指導を実施



健康寿命の延伸



地域・行政・関係機関が連携し、健康寿命を延伸します。

在宅支援を 中心とした 認知症施策 の充実

早期対応・早期診断のための環境整備

○地域における人材の育成

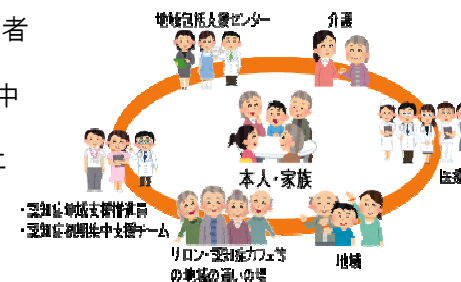
- ・認知症の人とその家族・医療・介護・地域をつなぐ認知症地域支援推進員の配置
- ・認知症の正しい知識の周知
- ・☎予防教室の開催
- ・認知症サポーターの養成

○関係機関との連携強化

- ・☎備後圏域6市2町の連携による徘徊高齢者の早期発見・安全確保
- ・医師や看護師などで構成する認知症初期集中支援チームによる訪問
- ・地域住民や警察などと連携した徘徊高齢者に対する声かけ訓練の実施

○場づくりへの支援

- ・認知症カフェの開設支援



若者や女性が輝く都市づくり(予算額:74,590千円)

担当課：経済環境局経済部産業振興課
保健福祉局児童部ネウボラ推進課 ほか

めざす姿

若者や女性が個々の能力を尊重され、生きがいを持って働くことのできるまち

2017

2018

・情報発信の強化
・若者や女性が活躍できる環境づくり

若者や女性の地元定着・転入促進の強化

若者・女性の人材還流と定着

概要

若者と地元企業との交流促進や、地元企業の認知度向上などにより、地元就職を促進します。
また、働き方改革や柔軟な労働環境の整備などにより、女性の更なる活躍を支援します。

若者の活躍支援

■若者の地元定着

①大学生の地元定着促進

- ・市内に暮らす学生を対象とした市外大学への通学費支援

②地元企業の認知度向上

- ・高校生などを対象とした職業観の醸成
- ・市立大学での地元企業のビジネスモデル学習

③地元企業とのマッチング

- ・学生や保護者を対象とした企業見学会の開催

④看護学生などへの就職支援

- ・看護学生向け市内就職セミナー
- ・看護職員再就職支援セミナー

⑤早期離職の防止

- ・企業の管理職層を対象とした若手職員のモチベーションマネジメント講座

■U・ターンの促進

- ・関西などでの地元企業と学生の交流会
- ・U・ターン就職相談会



女性の活躍支援(女性に特化した就職支援)

■女性の就職・就業支援

①女性のUターン就職の支援

- ・女性単身者やひとり親世帯(母子家庭)などを対象に、市内企業への就職活動費(交通費)や市内への引っ越し費用を支援

②働く女性のロールモデルの発信

- ・製造現場などで活躍している女性取材した動画などを発信

③駅前女子カフェの運営

- ・対象年齢の拡大
- ・出張カフェの実施



■女性の“働きたい”を後押し

④働き方改革の推進

- ・ワーク・ライフ・バランスの推進などに取り組む事業者の認定・表彰
- ・健康経営を促進するセミナーの開催

⑤女性のキャリアアップ支援

- ・女性のキャリアアップ支援
- ・事業者向け啓発セミナーの開催

⑥Web系在宅ワークの支援

- Web系在宅ワークに関する
- ・技能習得研修会の実施
- ・在宅ワーカーに対する業務受注の支援
- ・在宅ワーカー活用企業の発掘

⑦未就労女性の就労促進に向けた調査

- ・就労条件や労働環境に関する意識調査

⑧女性の働く環境改善補助金

- ・女性活躍のための職場環境改善経費への助成



障がい者の社会参加支援(予算額:16,851千円)

担当課：保健福祉局福祉部障がい福祉課
経済環境局経済部産業振興課

めざす姿

障がいのある人が地域社会で自立し、安心して暮らせるやさしさと信頼に満ちたまち

2017

就労に向けた支援と障がいへの理解促進

2018

障がい者の雇用拡大と障がいへの理解促進に向けた取組の充実

障がい者の社会参加

概要

一般就労への移行に取り組むとともに、就労後も安心して働き続けられるよう支援を行います。
また、手話への理解を広め、手話を使用しやすい環境を整備します。

就労に向けた支援

障がい者の経済的自立に向け、雇用拡大に取り組めます。

○障がい者雇用セミナーの開催

- ・障がいの特性や障がい者雇用の現状・今後の方向性について事業主などの理解を深めるセミナーを開催



○事業所への巡回指導や相談

- ・定期的に事業所を巡回し、生産活動や就労移行についての助言や指導を行う障がい福祉サービス指導員を配置



○障がい者雇用奨励金の交付

- ・市内に居住する障がい者を雇用する企業などに、雇用奨励金を交付



障がいへの理解

手話への理解を広め、手話の普及啓発に取り組めます。

◎手話言語条例関連事業の実施

- ・市民や事業所、学校等を対象とした手話講座などの開催
- ・日常生活がより円滑に行われるための用具として、人工内耳体外部装置(補聴器)購入費支給事業を創設



福山市こころをつなぐ手話言語条例

2017年(平成29年)12月20日施行

手話が言語であるとの認識に基づき、手話への理解と普及に関して基本理念を定め、市の責務、市民と事業者の役割を明らかにし、すべての市民が共生する地域社会の実現をめざすもの。

地域経済の活性化(予算額:292,439千円)

担当課：経済環境局経済部産業振興課 企業誘致推進課
企画財政局企画政策部企画政策課 ほか

めざす姿

優れたものづくり技術などを生かし、活力ある産業が創造されるまち

2017

2018

関係機関や企業との連携強化

拠点機能の強化に向けた産業基盤の整備と人材の育成

拠点機能の強化

経済活動の活性化

概要

新事業の創出や人材の育成などを通じて、中小企業の競争力の強化に取り組むとともに、福山北産業団地第2期事業の着手など、経済活動の活性化に向けた産業基盤の整備にも取り組みます。

企業誘致の促進

福山北産業団地第2期事業

- ・新たな産業団地の造成(用地測量, 実施設計 ほか)

情報発信の強化

- ・新たな産業団地や助成制度などをまとめたPR映像制作 など



高度人材の育成

産学官連携による人材の育成

- ・国際社会で活躍できる人材の育成(講座や海外研修)
- ・官民協働による福山版“海外留学制度”(再掲)

兼業・副業の推進

- ・民間企業と連携した兼業・副業の推進



まるごと実験都市ふくやまの推進

実証実験の推進

- ・自動走行の実証実験
- ・先端技術(IoTやAIなど)の実証実験の実施・誘致
- ・「(仮称)先端技術によるまちづくり官民協議会」の設置
- ・ばらのまち福山ポイント実証実験(マイナンバーカードのICチップを活用)



産業の活力創造

ものづくり人材, IoT・AI人材の育成強化

- ・ものづくり大学による技術者やIT人材の育成
- ・現場技術の学びなおし講座
- ・IT人材育成セミナー など
- ・広島県との連携強化による先端技術を活用できる人材の育成

企業の稼ぐ力の強化

- ・福山ビジネスサポートセンターFuku-Bizによる売上向上・創業促進
- ・新商品開発などの費用の一部助成

創業支援の充実

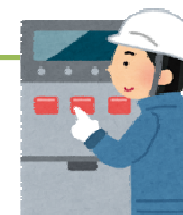
- ・Fuku-Bizの拠点性強化, 創業者同士のつながり強化
- ・オープンガバメント(行政情報の公開)による創業などの促進

地域資源の活用と支援

- ・国内屈指のデニム産地を国内・海外にPR(有名ブランドバイヤーが集う海外展示会への出展支援など)
- ・伝統産業の設備更新や改修費用の一部助成

経営課題の解決

- ・ものづくり福の耳プロジェクトなどによる経営課題の把握・解決



農林水産業の活性化(予算額:20,925千円)

担当課：経済環境局経済部農林水産課 地産地消推進課

めざす姿

多様な資源を生かし、魅力ある農林水産業が育成されるまち

2017

事業者や地域資源の掘り起こし

2018

商品力強化・販路開拓
事業間連携の情報発信力強化

びんご製品の知名度向上・消費拡大

農林水産業者の所得向上

概要

農林水産物に新たな付加価値を創出するため、6次産業化の推進や農工商連携を推進するとともに、水産物のブランド化による商品力強化を図ります。

6次産業化の推進

○首都圏におけるびんご製品の販路開拓

- ・びんご製品の首都圏の消費者への宣伝
- ・事業者の販路拡大のためのマッチング支援



○新商品開発などの支援

- ・びんご6次産業化アドバイザーの派遣による新商品開発支援など(派遣回数6回まで無料)
- ・新商品の開発に取り組む事業者の設備整備などへの支援



○備後圏域ワインプロジェクト

- 備後産ワインの魅力を圏域内外へPR
- ・圏域外でのワイン列車の運行
- ・**新**(仮称)ワインフェスティバルの開催



生産(1次)×加工(2次)×流通販売(3次)=6次産業化

水産物ブランド化の推進



○備後フィッシュフェスや料理教室の開催

- ・地魚の魅力発信による認知度の向上

○**新**「備後フィッシュフェア」の開催

- ・「備後フィッシュの食べられる店」の認定
- ・認定店と連携した「備後フィッシュフェア」の開催



【挑戦3】まちの成長をけん引する産業づくり・防災

防災対策の推進(予算額:2,733,572千円)

(国の補正予算に伴う前倒し分 549百万円程度)

担当課：総務局総務部危機管理防災課 建設局土木部農林整備課
教育委員会管理部施設課 上下水道局工務部下水道施設課 ほか

めざす姿

大規模災害への備えが強化された災害に強いまち

2017

防災リーダー相互の連携強化
浸水対策や施設耐震化の実施

2018

自主防災組織など地域団体の連携強化
浸水対策や施設耐震化の更なる推進

地域防災力の向上
災害に強い施設の増加

概要

安心・安全に暮らせるまちの実現に向けて、自助・共助による地域防災力の強化を進めるとともに、河川大規模氾濫時などの減災対策や公共施設の耐震化など、災害に強い施設の整備を行います。

地域防災力の強化・・・「自助・共助」

- 市民への啓発
各種啓発行事や自主防災組織内での防災ガイドブックの活用
- 人材育成・活用の促進
・福山防災大学における防災リーダーの育成
(備後圏域の受講者が対象)
・防災講座の講師として防災リーダーを派遣
- 自主防災組織の活性化
・自主防災組織の活動支援
(防災訓練, 学区・地区防災(避難)計画作成, 避難行動要支援者への取組など)
・~~新~~防災リーダーと連携して各学区の活動状況などの把握
・学区・地区防災(避難)計画の作成促進



災害に強いまちづくり・・・「公助」

- 瀬戸川流域や手城川流域などの浸水対策の推進
・河川・水路の改修・整備
・雨水排水施設の整備
- 公共施設などの耐震化
・2020年度(平成32年度)の学校施設の耐震化完了に向けた取組
改築 小学校 2校 中学校 1校
改修 小学校 2校
(国の補正予算に伴う前倒し分)
改修 小学校 6校 中学校 3校
<学校施設耐震化率>
2017年度 87.9% → 2018年度 91.7%
・ため池の耐震化



未来を創造する教育(予算額:2,434,268千円)

担当課：教育委員会学校教育部学びづくり課
市立大学事務局総務課 ほか

めざす姿

自分で進むべき道を切り開けるたくましく生きる力を育むとともに、社会や地域経済の発展に貢献できる人材を輩出するまち

2017

教職員研修等の体制整備
教育環境の整備

2018

「子ども主体の学び」の全教室展開
教育環境の更なる充実とグローバル人材の育成強化

「授業が面白い」意識と自己効力感の向上
地域や社会で活躍する人材の増加

概要

「自ら考え学ぶ授業」の更なる充実と「学ぶ環境」の整備を行い、「福山100NEN教育」に着実に取り組みます。
また、高等教育機能の充実・強化を進め、グローバル人材の育成に取り組みます。

福山100NEN教育の推進 ~21世紀型“スキル&倫理観”を育成します~

自ら考え学ぶ授業づくり

○小学校「学びのフロンティア校」事業

・低学年が、「読み・書き・計算」の学習で主体的に学ぶことを促す活動や指導法の研究・発信



㊦中学校区「学校経営戦略推進」事業

特色ある中学校区の取組を支援
・済美（地域と連携した探究活動の推進）
・加茂（運動を通じた体力・主体性の育成）
・千年（9年間の学びをつなぐ教育課程編成）

○中学校「教科の専門性パワーアップ」事業

・各教科ごとに教員が集まり、授業研究・協議を通して、専門性・授業力を向上

㊦「学力の伸びを把握する調査」事業

・同一児童生徒の学力や学習に関する意識などの経年変化を把握

○高等学校「グローバル人材育成」事業

・オンリーワン企業など特徴的な地元企業を訪問し、経営・技術開発などを学習

㊦10歳の君へ よこそ美術館プロジェクト

・全小4児童をふくやま美術館へ招待するなど、豊かな創造力・想像力や思考力などを育成



市内大学の充実・強化

㊦官民協働による福山版“海外留学制度”

ものづくりコースなど地域ニーズに
応えるコースとインターンシップを組
み合わせた海外留学支援制度の実施



㊦福山市立大学の施設整備

学生活動などの拠点施設整備
(用地取得など)

㊦市外大学との共同調査・研究

グローバルな知見を有する市外大学などと、
地域活性化に向けた施策を提案するフィールド
ワークを実施

○グローバル人材の育成(再掲)

環境整備

○学校規模・学校配置の適正化

・義務教育学校の整備
(仮称)「鞆の浦学園」
教育課程編成, 施設整備, 情報発信
(仮称)「千年小中一貫教育校」
意見交換, 施設設計
・開校に向けた取組
児童生徒の事前交流
再編後の新たな学校の整備・充実 など



㊦ ICT教育機器の整備

・全市立小中学校の教室, 特別
教室へ整備
[整備機器]
電子黒板機能付プロジェクター,
タブレット型PC, 実物投影機 など



○中学校給食実施の加速化

・全市立中学校(35校)での
実施に向けた取組



【挑戦4】夢・希望あふれる未来を創る人財の育成

未来づくりへのチャレンジ(予算額:12,751千円)

担当課：市民局まちづくり推進部まちづくり総務課
 青少年・女性活躍推進課
 協働のまちづくり課 ほか

めざす姿

「ふるさと福山」への誇りと愛着が醸成され、夢と希望があふれるまち

2017

2018

若者がチャレンジする機会の提供
 市民による福山の未来図の完成

未来づくりに向けた市民及び事業者などの取組の創出

市民や事業者による未来づくり活動の増加
 夢にチャレンジする若者の増加

概要

若者たちが夢にチャレンジできる機会を設け、夢・希望の実現に向けた支援を行います。
 また、あらゆる市民が未来づくりに向け話し合い、アクションを起こす場を創り、オール福山で未来づくりを進めます。

若者のチャレンジの応援

■子ども議会・高校生議会

小・中学生、高校生のそれぞれの視点での
 新たなまちづくり施策の提案
 (議会開催にむけた活動)
 ・本市の現状や課題の調査
 ・地域や社会への関心の向上

■夢・未来プロジェクト

次代を担う子どもたちの夢の実現に向
 けた支援
 ・夢を発表する機会の提供
 ・夢の実現に向けた専門家による指導



未来をつくる協働

■未来づくりに向けた支援

ふくやま未来づくり100人委員会で描か
 れた30年後の福山の未来に向けた取組

①未来づくりミーティングの創設

・未来づくりに意欲のある人々が集い、
 話し合う場の創設

②未来づくり活動の応援

・市民や事業者などが協働して行う社
 会性・公益性の高い取組への支援
 (公開プレゼンテーションや専門家に
 よる助言など)



■市民との対話

○車座トーク

・市長が地域へ出向き、地域の未来
 づくりについて市民と直接対話
 (全学区での実施、市政への反映)



■地域課題の解決に向けた取組

①有識者会議の開催

・有識者や地域住民などが、
 まちの課題解決に向けて議論

②シンポジウムの開催

・他都市の先進事例を共有
 ・地域課題の解決に向けた議論
 ・市民の主体的活動の促進に向けた
 意識の醸成

■活躍の場づくり

○福山市まちづくり人財バンク

・スキルを持った個人と課題を抱える
 地域団体やNPO等とのマッチングの
 推進

【挑戦5】文化・スポーツの振興

歴史・文化・芸術の薫る都市づくり(予算額:293,307千円)

担当課：経済環境局文化観光振興部文化振興課
ほか

めざす姿

歴史・文化が継承され、郷土愛を育み、地域の活性化に生かされているまち



概要

福山城築城400年記念事業の実施や福山城などの保存・整備を行い、歴史・文化資源の価値を高めるとともに、機運の醸成に取り組みます。また、ばらのまち福山国際音楽祭をはじめとした活動を充実し、芸術・文化の拠点機能を強化します。

入封400年・福山城築城400年に向けた取組

機運醸成

- VR制作(福山城CG作成など)
- 講演会・企画展
- 市民企画事業の展開

- 藩主ゆかりの自治体との連携 (東京都文京区, 愛知県刈谷市など)
- 福山城での交流イベントの開催
- ガイドブックなどの作成

保存・整備

- 史跡福山城跡整備基本計画の策定 (新福山城西二之丸石垣保存整備など)
- 新福山駅北口広場整備

- 新福山城公園整備(樹木伐採など)
- 福山城ライトアップの基本設計
- 新福山城周辺施設や道路の整備, 二之丸お散歩エリア創出への社会実験 など

入封400年プロジェクト
福山城周辺や神辺など
藩主ゆかりの地域での取組

2019年
水野勝成
初代藩主
入封400年

2022年
福山城
築城
400年



福山城築城400年
記念事業ロゴマーク

歴史・文化資源の価値向上と芸術・文化活動の充実



新ばらのまち福山国際音楽祭2018

21世紀の
朝鮮通信使
コンサート

ローズ
マインド
コンサート

次世代
招待
コンサート

過去と未来
の懸け橋
コンサート

新 新の朝鮮通信使資料がユネスコ「世界の記憶」に登録されたことを記念し、韓国オーケストラを招へい

・海外オケと市民オケの共演
・若手音楽家への演奏の場の提供

小学生やマタニティ・女性のためのコンサート

箏(こと)とオーケストラとのコラボレーション

島田荘司選 ばらのまち福山ミステリー文学新人賞

- 第10回受賞作出版, 表彰式
- 第11回作品の募集, 選考, 決定
- 第12回作品募集

新10歳の君へ よこそ美術館プロジェクト(再掲)

- 全小4児童に対する芸術文化体験(ふくやま美術館)

新 新地区町並み保存推進

- ※すべて再掲
- 伝統的建造物群保存地区内建物の修理・修景に対する補助
- 町並み保存の啓発
- ユネスコ「世界の記憶」の周知啓発
- 新(仮称)新町町並み保存拠点施設の整備

新 新地区の歴史文化資源の発信

- 廉塾・菅茶山旧宅の整備
- 国史跡への指定をめざした新 新本陣の保存・整備



【挑戦5】文化・スポーツの振興

鞆のまちづくり(予算額:401,708千円)

担当課：建設局都市部都市計画課
経済環境局文化観光振興部文化振興課 ほか

めざす姿

歴史や伝統文化が次世代に受け継がれ、安全で快適な生活環境と活力のあるまち

2017

鞆まちづくりビジョンの策定

2018

鞆まちづくりビジョン実現に向けた体制づくり

ビジョンにもとづく各種取組の推進

概要

鞆まちづくりビジョンの実現に向け、地域との協働の取組体制を構築するとともに、歴史ある町並みの保存や、地域住民・観光客が集う拠点施設の整備を通じたにぎわいづくりと安全で快適な生活環境整備に取り組みます。

鞆地区の再生・活性化

3つのキーワード

安心・安全

①防災広場の整備

- ・重伝建※を中心とした密集市街地内の防災機能を強化する防災広場整備
(災害時の一時避難場所、緊急車両の通路の確保など)
※重伝建…重要伝統的建造物群保存地区の略

②(仮称)鞆町町並み保存拠点施設の整備

- ・地元住民や観光客が集う鞆の歴史的建造物を活用した拠点施設の整備(基本設計・実施設計)

③町並み保存の推進

- ・重伝建に選定された伝統的建造物群保存地区内建物の修理・修景に対する補助
- ・町並み保存の啓発(講演会の実施やパンフレット等の活用)

④歴史的資源の保存・活用

- ・重伝建に選定された歴史的町並みや、ユネスコ「世界の記憶」に登録された朝鮮通信使の関連史料など鞆に残る価値ある地域資源の保存・活用を通じたまちづくりを推進

にぎわい

歴史・文化の継承



○鞆まちづくりビジョンの周知

- ・地域住民とのワークショップにより策定した鞆まちづくりビジョンの周知
- ・地域と行政との協働の取組体制構築



【挑戦5】文化・スポーツの振興

スポーツを核とした地域活性化(予算額:4,665,800千円)

担当課：市民局まちづくり推進部スポーツ振興課
建設局都市部公園緑地課
ほか

めざす姿

観るスポーツ, するスポーツなど, 市民がスポーツに身近に親しむことができるまち

2017

メキシコチーム事前合宿の誘致
総合体育館の工事着工

2018

総合体育館の整備とオリンピック・ムーブメントの推進

スポーツ拠点機能の強化
総合体育館の完成

概要

備後圏域の拠点施設となる総合体育館の整備やオリンピックチームとの交流などを通じて、全国から競技者やスポーツ愛好者が集い、にぎわいを創出するとともに、市内や圏域内の競技者・団体のスポーツ活動を支援します。

拠点施設の整備・活用

2017年10月
工事着工

■スポーツ拠点機能の強化・形成

- (仮称)福山市総合体育館などの整備
 - ・メインアリーナ, サブアリーナ, 武道場などの整備



- ①河川空間の一体的な利活用
 - ・にぎわいや憩いの拠点の創出
(公園や芦田川河川敷などの整備)



■生涯スポーツ・大会施設としての役割

- 生涯スポーツや観るスポーツの推進
 - ・市民のスポーツ活動の推進
 - ・全国規模の大会やプロスポーツの誘致活動



オリンピック・ムーブメントの推進

■メキシコオリンピックチームの事前合宿受入れ

- ①メキシコチーム交流合宿の実施
 - ・2018年度 2競技(バドミントン, スポーツクライミング)の合宿受入れ
 - ・2020年までに, 8競技の事前合宿受入れ **県内最多**
競泳, ダイビング, トライアスロン, スポーツクライミング, バドミントン, フェンシング, ボート, カヌー



①メキシコチームとの交流

- ・メキシコとの継続的な親善関係の構築
メキシコ選手団と市民とのスポーツなどを通じた交流
- ・メキシコ文化の理解
市民向けの講座や料理教室など



○JOCパートナー都市協定による事業の推進

- ・オリンピックとの交流と機運醸成
- ・オリンピックの価値を伝え, 子どもたちがスポーツに親しめる機会の創出

本格的な人口減少対策 ～先行的取組～

合計：1,396,888千円(再掲分)

自然減の抑制

福山ネウボラの拡充



結婚・妊娠・出産への支援

結婚

妊娠

出産

① 不育症治療助成制度の創設

【挑戦2】

・不育症に係る検査及び治療費用を助成

子育てへの支援(保育, 医療など)

① 子育てグッズや絵本などをプレゼント

【挑戦2】

生活環境への支援

① 市立大学附属こども園に相談窓口「あのね」を開設

① 子育て支援アプリなどによる子育て情報の発信

社会増に向けた環境整備

若者や女性の転出抑制・転入促進

市内企業への就職促進

就職活動

引っ越し

住まい

① 女性のUIターン就職の支援

【挑戦2】

・市内に転入する女性単身者や母子家庭等を対象に、就職活動や引っ越しなどに関する費用を助成



① 子育て世帯等の住まいの支援

【挑戦1】

・市内に転入する子育て世帯などを対象に
中古住宅改修費用を助成



大学進学時の転出抑制

① 市外大学への通学支援

【挑戦2】

・市内から市外大学へ通学する学生を支援(若者の地元定着の促進)

暮らしの魅力発信(移住促進, 都市の魅力向上など)

備後圏域における拠点機能の強化

合計：5,362,147千円（再掲分）

備後圏域の中核都市として、産業や芸術・文化、スポーツの機能を高めることにより、本市及び圏域全体の地域経済の活性化や新たな人の流れの創出につなげます。

産業

第4次産業革命などの潮流にも対応できる強い地域経済をめざし、産業インフラの整備やIoT・AIなど未来を支える技術を創造・活用できる専門人材の育成・確保に取り組むなど、本市が誇るオンリーワン・ナンバーワン企業の競争力を高めます。

④産業インフラの整備

- ・福山北産業団地第2期事業
- ・情報発信強化による企業誘致の促進（PR映像の制作など）

○福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz

- ・中小企業の稼ぐ力を高める伴走型支援，創業支援

④備後圏域のものづくり企業の研究・開発への支援

- ・県立東部工業技術センターの機能強化による研究・開発力向上への支援

④未来を支える産業人材の育成・確保

- ・広島県と連携したものづくり人材やIoT・AI人材の育成
- ・官民協働による福山版“海外留学制度”の創設

スポーツ

備後圏域の拠点施設となる総合体育館の整備やオリンピックチームとの交流などを通じて、全国から競技者やスポーツ愛好者が集い、にぎわいを創出するとともに、市内や圏域内の競技者・団体のスポーツ活動を支援します。

○(仮称)福山市総合体育館などの整備

- ・総合体育館や公園などの整備 ④(仮称)かわまち広場の整備

○東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組

- ・④メキシコオリンピックチームの事前合宿受入れ ④市民との交流事業 など

芸術・文化

福山城や鞆の浦のほか、神辺地域など市全体の資源を保存・活用するとともに、芸術・文化の拠点施設であるリーデンローズを活用した音楽祭の開催など、地域特有の芸術・文化資源を生かしたまちづくりを進め、都市の魅力を向上します。

○福山城築城400年に向けた取組

- ・入封400年プロジェクト（神辺地域など、藩主ゆかりの地でのプレイベント）
- ・④福山城公園整備（樹木伐採など）、福山駅北口広場整備、史跡福山城跡整備基本計画の策定（福山城西二之丸石垣保存整備など）、福山城鐘櫓修理、福山城周辺道路整備 など

④芸術・文化活動の充実・発信

- ・ばらのまち福山国際音楽祭2018の開催
- ・10歳の君へ ようこそ美術館プロジェクト（市内全小4児童のふくやま美術館への招待など）

○鞆地区の歴史文化資源の保存・活用

- ・④(仮称)鞆町並み保存拠点施設の整備
- ・町並み保存の推進（建物修理などに対する補助）

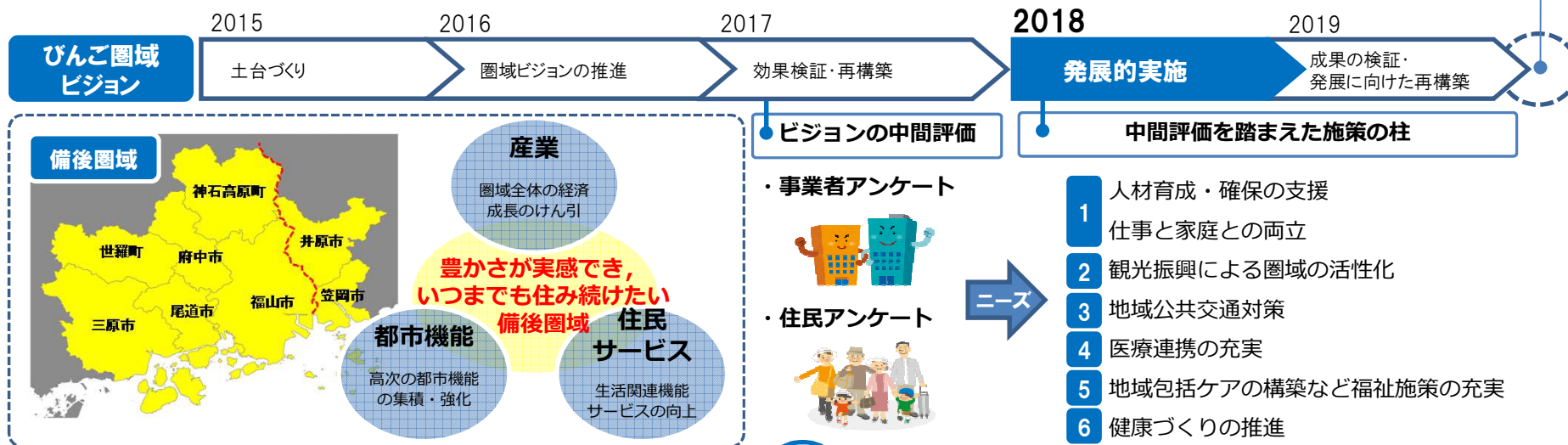
福山市

連携中枢都市圏構想(予算額:770,473千円)

めざす姿

豊かさが実感でき、いつまでも住み続けたい備後圏域

人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成するため、圏域の自治体間で連携を更に深め、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」、「生活関連機能サービスの向上」に取り組みます。



産業

圏域全体の経済成長のけん引

- 圏域全体の産業振興の仕組みづくり
 - ・産業支援拠点(Fuku-Biz)の運営
 - ・ 〓 備後圏域創業促進事業
 - ・ものづくり人材育成支援事業
- 中小企業事業者等への支援
 - ・デニムプロジェクト(デニム産地PRの強化)
 - ・U・ターン就職支援事業
 - ・若年者就職支援事業
 - ・ 〓 仕事と家庭の両立支援
- 第一次産業の活性化
 - ・販路開拓推進・6次産業化推進事業
 - ・備後圏域ワインプロジェクト
- 戦略的な観光振興
 - ・びんご圏域周遊促進事業
 - ・ 〓 備後圏域サイクリングエリアの構築

FUKU-Biz

Pick UP!

〓 備後圏域創業促進事業

・備後圏域の創業ネットワークを強化するためのFuku-Bizの拠点性の強化、出張相談創業者や創業希望者を対象とした情報交換会や事業発表会の開催 等

1 人材育成・確保の支援

ものづくり人材育成支援事業

・学びなおしや啓発イベント情報などを広く情報発信する「ものづくり大学」を運営 等

1 人材育成・確保の支援

U・ターン就職支援事業

・U・ターン就職の情報提供の強化、就職相談会の開催、企業の“採用力”の強化

1 人材育成・確保の支援

〓 仕事と家庭の両立支援

・ワーク・ライフ・バランス推進の意義を社会全体に浸透させるための両立支援セミナーの開催

1 仕事と家庭との両立

都市機能

高次の
都市機能の
集積・強化

- 高度医療の充実や強化
 - ・医療体制の充実
 - ・高度医療機器の整備
 - ・看護職員確保対策事業
- 広域的な都市基盤の整備
 - ・地域公共交通再編実施計画策定
- 高等教育機能の充実や強化
 - ・大学連携の推進
 - ・グローバル人材の育成



Pick UP!

医療体制の充実

4 医療連携の充実

- ・県境を越えた医療広域連携会議の開催 等

看護職員確保対策事業

4 医療連携の充実

- ・離職中の看護職員に対する再就職支援セミナーの開催
- ・看護職員養成所の運営や定員数増加に伴う施設改修への支援

地域公共交通再編実施計画策定

3 地域公共交通対策

- ・笠岡市と連携し、公共交通再編に係る計画策定 等

大学連携の推進

1 人材育成・確保の支援

- ・圏域6大学の学生が主体となり観光振興などにつながるビジネスプランに向けたワークショップ開催 等

住民サービス

圏域全体の
生活関連
機能サービス
の向上

- 医療や福祉サービスの充実
 - ・圏域内公立病院等連携事業
 - ・地域包括ケアシステムの構築
 - ・こども発達支援センターの共同運営
 - ・新備後圏域ヘルスツーリズム
 - ・新オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ振興推進事業
- 広域化による住民サービスの向上
 - ・地域防災を担う人材の育成
 - ・備後圏域消費者行政連携事業
- 地域活性化の推進
 - ・道の駅等のネットワーク化
 - ・備後圏域PR事業
- 定住促進
 - ・備後圏域定住促進事業
 - ・備後圏域プロモーション事業
- 圏域マネジメント能力の強化
 - ・人材ネットワークの広域活用



Pick UP!

圏域内公立病院等連携事業

4 医療連携の充実

- ・福山市民病院による圏域内病院への診療支援 等

地域包括ケアシステムの構築

5 地域包括ケアの構築
など福祉施策の充実

- ・認知症での徘徊により行方不明になった者をネットワークを通じて早期発見・安全確保(新 備後圏域6市2町における高齢者徘徊SOSネットワークの構築)
- ・日本郵便との包括協定に基づいた見守り活動の実施

新備後圏域ヘルスツーリズム

6 健康づくりの推進

- ・健康に関する意識・行動変容につながるモニターツアー等の実施

新オリンピック・パラリンピックに向けた スポーツ振興推進事業

2 観光振興による
圏域の活性化

- ・メキシコチームへの練習環境を圏域市町と協力して提供
- ・イベントやスポーツ教室を通じたメキシコ選手との交流事業

BINGOフェスティバルIN尾道

2 観光振興による
圏域の活性化

- ・花や食を主題とした圏域のスポット紹介を行い圏域内の周遊を促進